

総務文教常任委員会審査概要報告書

委員長 酒井 善広

- I 開催年月日 令和 2 年 5 月 14 日（木）
II 会議時間 午後 1 時 00 分～午後 1 時 58 分
III 出席委員等〔出席委員〕◎酒井 善広 ○横田 誠二 高瀬 充子
本田 利麻 中村 清志 上田 武
曾田 康司 中川 加津代 畠 起也
（◎…委員長 ○…副委員長）
〔説明員〕 別紙名簿のとおり
〔委員外議員〕 なし
〔事務局職員〕 西本 幸夫 松本 武司 関本 尚彦
〔傍聴者〕 なし

IV 審査の概要

1 報告事項について

〈 当局から、次のとおり報告・説明があった。 〉

〔市長政策部〕

- (1) 総合計画第 4 次基本計画の策定について
- (2) 令和 2 年国勢調査の実施について
- (3) 新型コロナウイルス対策に関するふるさと納税の寄付項目の立ち上げについて

〈 委員から、次の質疑等があった。 〉

（ 以下、質疑・質問内容は ○ 、答弁内容は △ で表示 ）

【総合計画第 4 次基本計画の審議会委員について】

- 公募委員の想定人数及び選考方法は。
- △ 若干名募集するが、分野ごとに 3 部会設置し、1 部会当たり 1 人程度を想定している。参加したい希望の部会を伺うなどして選考したい。
- 第 3 次基本計画の審議会委員 56 人の女性比率は。
- △ 女性は 18 人となっており、割合は 32%である。
- 第 4 次基本計画については、今まで以上に女性の視点を取り入れるため、審議会委

員の女性比率を高めてほしい。(要望)

〈 当局から、次のとおり報告・説明があった。 〉

〔総務部〕

- (1) 令和2年度高岡市職員採用試験の概要について
- (2) 令和元年度寄附金（ふるさと納税等）の状況について

〈 委員から、次の質疑等があった。 〉

【職員数の削減について】

- 令和2年4月1日時点と比較し、3年4月1日時点では、何名の職員減となるのか。
- △ 職員総数で4名の減員を見込んでいるが、今後の中途退職等により、変動する可能性がある。
- 職員削減により、仕事量が過重にならないよう配慮すべきと考えるが、見解は。
- △ やみくもに職員数を減らしているわけではなく、事務事業の見直しや民間委託による事務量の減を理由に削減している。

【保健師の採用について】

- 保健師3名程度を募集するとのことであるが、配属先は。
- △ 3名のうち1名は退職者補充分であり、増員は2名となる。現在、正規職員の保健師については、健康増進課、社会福祉課、高齢介護課、子ども・子育て課に配置しているほか、令和2年度からはフレイル対策ということで、保険年金課にも配置している。増員2名の配置については、今後の業務の動向も見極めながら、検討する。

【ふるさと納税について】

- 令和2年度におけるふるさと納税の目標金額及び増額に向けた取り組みは。
- △ 令和元年度からふるさと納税・寄附を受け付ける外部サイトを増やし、返礼品として地場産品の選定等に取り組んだ結果、金額が増えたと考えている。今後、ふるさと納税の規模は、一定レベルで続くと考えており、2年度当初予算においては、前年度比5,500万円増の1億6,000万円を見込んでいる。また、全国的には返礼品競争の過熱が課題になるなど、返礼品の制度に対し、様々なご意見もあるが、本市の魅力を発信するツールとして活用できることは事実なので、返礼品目的の方へのアプローチ方法だけでなく、寄附項目の拡充についてもしっかりと考えたい。今回の新型コロナウイルス対策に関するふるさと納税の寄附項目の立ち上げについても時宜に応じた取り組みの一つである。今後も庁内で連携を図り、取り組みを進めたい。

〈 当局から、次のとおり報告・説明があった。 〉

〔教育委員会〕

- 。新型コロナウイルス感染症予防に係る高岡市教育委員会の対応について

〈 委員から、次の質疑等があった。 〉

【ケーブルテレビでの授業動画等の放送について】

- 高岡ケーブルネットワークの放送がない地域での対応は。
- △ 牧野地区が放送を見られない地域に該当するが、射水ケーブルネットワーク株式会社の協力を得て、牧野小学校、牧野中学校の応援メッセージを放送する旨、高岡ケーブルネットワーク株式会社から連絡があった。また、高岡市教育センターのホームページから高岡ケーブルネットワーク株式会社のサーバーに繋ぎ、そこからも視聴可能であるほか、授業動画のDVDも貸し出ししている。

【分散登校について】

- 5月18日から5月29日までの分散登校では、授業を行うのか。
- △ まずは、生活リズムを取り戻すことが基本だと考えている。中学3年生については、進路選択の最終学年であり、生徒、保護者も大変心配していると思うので、学力補充をしっかりと行いたい。
- 緊急事態宣言が解除されれば、6月以降、学校をどのように再開するのか。
- △ 6月1日以降の学校再開については、現時点では、判断できる状況にない。5月18日からの分散登校において、子どもたちの生活リズムを戻し、学力補充もしながら、6月1日以降の再開の見込みを持って、しっかりと取り組む。
- 2メートル、最低でも1メートル間隔のソーシャルディスタンスを確保する場合、1教室当たりの人数は。
- △ 学校では、早い段階から具体的な受け入れ体制を検討している。ソーシャルディスタンスについて、文部科学省は、1～2メートルとしており、1教室20人程度が一つの目安になると考える。しかしながら、学校にそれだけの教室数が無いので、様々な工夫により対応していきたい。
- 教室不足や教員不足の課題等が出てくると考えるが、体育館や多目的ルームも活用しながら、本格的な授業再開に向け体制を作っていく必要があると考える。不足する場合には、例えば、近隣の中学校であれば、高岡文化ホールや高岡地域地場産業センターの広い部屋を活用するなど、一度に生徒が授業を受けられる体制を検討してはと考えるが、見解は。
- △ 文部科学省は、感染防止について、地域の感染状況や動向を見ながら、各学校でしっかり判断して取り組むという方針を示している。今後、学校運営をしていく中で、子どもたちの健康面に害があってはいけないので、学校、地域、更には保護者の皆様と力を合わせて教育環境を整えたい。なお、移動が必要になることや教員の人数も限られているので、基本的には、学校内で指導を充実させたいと考えているが、難しい場合には、遠隔システムも活用しながら、取り組みたい。
- 中学3年生を対象とした遠隔クラスミーティングについて、分散登校以降も継続して実施する考えはあるのか。

- △ 今後、第2波、第3波が来るという専門家もいる。そうした場合にも、しっかりと対応できるよう、遠隔の仕組みを整えたい。
- 分散登校に当たって、これまで通学時に利用してきた公共交通機関の利用は認めるのか。
- △ 通学時に公共交通機関を利用するのは福岡と石堤である。乗車率を確認したところ、福岡は、50%未満であり、一定の間隔は確保できている。また、約80%の乗車がある石堤においては、関係課と話をしながら、手当をしていきたい。
- 保護者から、給食の提供を待ち望んでいる声も聞かれるが、今後の予定は。
- △ 一カ月ごとの発注のため、5月は発注していない。5月は、分散登校により午前または午後の登校ということとなり、給食は出さない。なお、6月以降は、従来の形に少しでも近づけたいと考えてはいるが、これも、感染の状況次第である。学校の中で、感染リスクが高まるのは、マスクを外し、飛沫が飛ぶ可能性がある給食の時間と言われている。そのリスクをいかに軽減できるかが、大きな課題である。給食の時間を楽しみにしている子どもたちは多いので、1日も早く、その回復を目指して努力していく。まずは簡易給食を実施することとし、終息していく中で、従来の形に戻していきたいと考えている。
- 感染リスクが高いことは十分理解する。給食の提供について保護者も不安を感じている。ぜひ、対策を講じ、給食を提供できるよう検討をお願いしたい。(要望)
- 分散登校時における低学年児童の対応及び学童保育との調整は。
- △ 午前中は自習体制を整え、3時以降の学童保育の引き受けは、引き続き実施することとなっている。
- 現在、兄弟で上の子が下の子の面倒を見ている場合がある。分散登校の際、兄弟で別日に登校することが想定されるのか。
- △ 児童生徒の居住地ごとに登校日を設定するため、兄弟は同じ日に登校することとなる。
- 分散登校は、学年ごとではなく、居住地ごとなのか。
- △ 1学年を居住地により2つに分け、教員が同じ授業を2回行うことにより、すべての児童生徒に同じ指導を行うこととなる。

【インターネットによる学習支援について】

- 学習支援で活用しているホームページの利用状況は。
- △ 教育センターのページは1万件を超えるアクセスがある。また、ゴールデンウィーク明けには、高岡ケーブルネットワークにサーバーを借りているが、こちらも1万件を超えるアクセスがあったと伺っている。高岡ケーブルネットワークのサーバーについては、容量が大きいので、快適にアクセスや視聴ができる状況になっている。

【学習状況等の確認について】

- 子どもたちの家庭学習の状況について、保護者に聞き取りはしているのか。
- △ 週一回の電話連絡により、保護者の方と話をしている。また、中学校では、本人とも電話で話をしており、学習状況の確認や健康観察を行っている。現在、チャレンジ3週間の取り組みが始まり、毎日の学習課題が具体的になっている。質問等があれば、

メール等での対応も行っているほか、中学校では、課題を回収し、点検も始めている。

2 その他

〈 委員から次の質疑等があった。 〉

【新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金について】

- 全国知事会も求めている新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金の増額について、本市としても国の2次補正を緊急に求めるべきと考えるが、見解は。
- △ 追加の経済対策を盛り込んだ2次補正については、現在政府で検討中である。報道によれば、今国会期間中の成立を目指し、増額についても検討されているとのことである。本市においても1回目の補正予算の中で、約4.5億円の枠配分あったが、先の5月臨時会で約2.2億円を使い、残りについても活用していく。今後、事態の進展や対策ニーズの変化に応じて、追加的な施策の投入も想定されることから、本市としても、引き続き、全国市長会を通じて財政措置の充実を要請していきたい。

【避難所のあり方、体制についてについて】

- 新型コロナウイルスの影響が心配される状況下でも、自然災害が起こる可能性があるが、避難所のあり方、体制についての考えは。
- △ 密集・密接・密閉の状況を避けるため、施設内におけるこまめな換気や避難者の十分な間隔の確保、また、避難者や運営要員のマスク着用や手洗い、咳エチケットの励行、手の触れやすい箇所の消毒など、基本的な感染防止対策を徹底し、集団感染の防止を図りたいと考えている。なお、避難所開設の際には、避難者の健康状態を確認するため、保健師の派遣体制も整えている。
- 三密を回避するため、避難所における仕切りの設置や、既存の避難施設に限らず、民間施設にも協力をお願いするなど、このような状況下においても対応できるよう検討してほしい。(要望)

【市税の減免、猶予実績について】

- 令和2年2月1日から5月13日までの市税の減免、猶予の実績は。
- △ 火災によるものを除く減免は、生活保護受給による9件となっているが、新型コロナウイルス感染症の影響によるものは出てきていない。また、徴収猶予の相談件数は54件となっているが、5月初めから受付をしている特例制度も含め、実際の申請件数は0件である。

〈 当局から、報告はなかった。 〉

〈 以上で委員会を閉じた。 〉

総務文教常任委員会 当局説明員（12名）

市長政策部長	鶴谷 俊幸	教育長	米谷 和也
市長政策部次長 都市経営課長・広域連携推進室長	久郷 聡	教育次長・参事	杉森 芳昭
		教育次長 学校教育課長・教育改革推進室長	杉山 智充
総務部長 選挙管理委員会事務局長	二塚 英克	教育総務課長	中保 哲憲
総務部次長	戸田 龍太郎		
総務部次長・参事 財政課長	長久 洋樹		
総務課 危機管理室長	割田 一郎		
人事課長	長谷川 聡		
納税課長	柴野 泰彦		